

中筋川ダム管理開始25周年

中筋川ダムは平成11年4月の管理開始から、令和6年度で25年を迎えます。この25年間に於いて、59回の洪水調節を行い中筋川流域の洪水被害軽減の役割を果たしてきました。これからも令和2年度から管理運用を開始した横瀬川ダムと共に地域の安全と安心を支えるために適切な管理運用を行うとともに、地域の皆様に愛されるダムを目指してまいります。

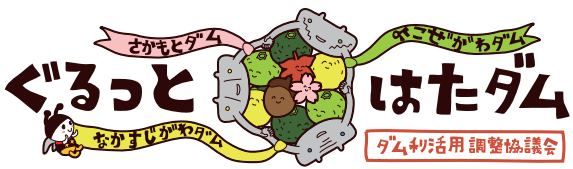
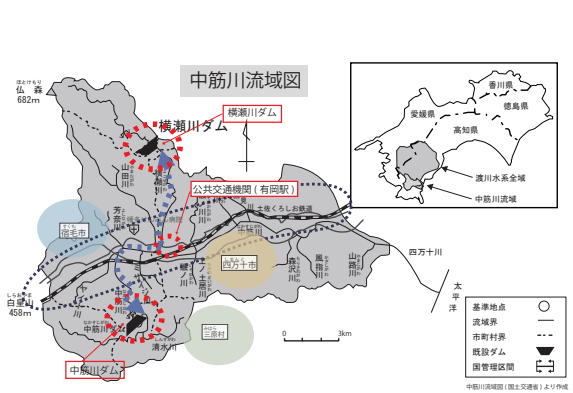


地域協働でもみじ湖を育てる！

横瀬川ダム周辺がもみじ湖の名前にふさわしい紅葉の名所になるように。地元小学生の卒業記念にあわせてもみじの植樹に取り組んでいます。（主催：ダム活元気ネットワーク）
今後は地域の皆様と協働での植樹も計画しており、もみじ湖の名にふさわしい環境を共に作り上げていきます。

「中筋川流域かわまちづくり」計画登録に向けた協議会の開催

令和5年3月、横瀬川ダムの完成を受け、中筋川ダム水源地域ビジョン（中筋川の未来を考える会）を中筋川流域水源地域ビジョン（ダム利活用調整協議会）に改定しました。
このビジョンの基本目標達成を目指し、中筋川ダム、横瀬川ダム及びその周辺の活性化のための「中筋川流域かわまちづくり」計画の策定に取り組んでいます。
そのため、ダム利活用調整協議会で計画を検討すると共に、ダム活元気ネットワーク構成員と共に蛍湖まつりなどの地域協働の取り組みを進めています。



中筋川ダム・横瀬川ダムをもっと知って！「もっとおしえてダムのこと」を発行！

ここから check !

もっとおしえてダムのこと

「もっとおしえてダムのこと」のお話ができました。
・ダムの大雨のときの役割って何だろう？
・雨が降らないときは、ダムは何をしているの？
このお話を読めば、もっとダムのことになれます。
中筋川ダムや横瀬川ダムで配布してます！
事務所HPからもダウンロード可能です。

四万十川ニュースレター vol.12

四万十川に関する様々な情報をお伝えします

国土交通省四国地方整備局と高知県では、平成27年2月に共同で策定した「渡川水系河川整備計画」に基づき、関係住民の皆様や学識経験者の方々、関係市町村等とのより一層の連携・協働を図りながら、鋭意、河川整備を推進しています。また、河川整備の具体的な実施内容や進捗状況を、このニュースレターを通じて皆様にお知らせしています。

四万十川かわまちづくり計画を策定しました！
令和6年2月に第3回四万十川かわまちづくり協議会が開催され、『四万十川かわまちづくり計画』が策定されました。今年度、四万十川かわまちづくり計画の登録申請を行い、来年度以降の本格的な事業着手を目指します。四万十川赤鉄橋付近を中心に、ハード・ソフト施策を実施し、四万十川を活かした地域の賑わい創出に向けて取組を進めていきます。



◆四万十川かわまちづくり計画基本方針（コンセプト）：
『川でつながるひと・まち・未来の創生』
◆四万十川かわまちづくり計画の基本方針の目標：

- 安全・安心に川とふれあえる水辺空間の創出（幅広い世代の多くの人々が利用）
- 地域や事業者などが河川空間を活用した更なる取組の推進（地域や民間事業者などが利活用）
- まちと川の魅力の向上を図るとともに回遊性を高め、交流人口の拡大を図る（四万十川を訪れた人が利用）

水と陸の接続
カヌー・SUP・ボートなどによる水辺利用の促進

入田ヤナギ林
河川管理用通路の整備

水辺・河原へのアプローチ

四万十川とのふれあい
安全かつ容易に四万十川とふれあうための整備

バスケットゴール
バスケットゴール設置（テニスコートの一部を転用）

駐車場
利便性向上のため駐車場の増設

キャンプ場
トイレ・洗い場の整備

河川敷駐車スペース
河川敷駐車スペースの整備

トイレ整備

全体イメージ

ヤナギ林イメージ

入江イメージ

アクセス動線

※パースは現時点のイメージであり、今後の設計等により変更となる場合があります。

ナベヅル3羽が越冬
四万十川自然再生事業の一環として、平成14年度から「ツルの里づくり」の取組を行っています。地域住民と連携し、ツル類が安心して越冬できる環境を目指して、河川の改良工事や田んぼの冬期湛水などに取り組んでいます。令和5年度は、ナベヅル3羽の越冬が確認され、令和4年度の2羽に続き2年連続の越冬となりました。

小学生とともに平面デコイを作成
四万十川の里づくりの会により、次世代のツルの守り手を育成することを目的として、東中筋小学校の児童を対象に「ツルの自然体験学習会」を開催しています。令和5年度は、初の試みとして、ツルの飛来を促す平面デコイを作成し、代替ねぐらとして整備している田んぼに設置しました。
今後もツル類が飛来する環境を守りながら、ツル類定着に向け、地域と連携して取組を進めていきます。



渡川水系河川整備計画とは
渡川水系河川整備基本方針(平成21年2月9日策定)に基づき、四万十川、後川、中筋川の総合的な管理ができるよう河川整備の目標および実施に関する事項を定めたものです。
その対象期間は、概ね30年間としています。

渡川水系河川整備計画の基本理念
安全で安心な生活を営むことができる川づくり
恵まれた自然を育む清流としての川づくり
次世代に誇れる豊かな川づくり

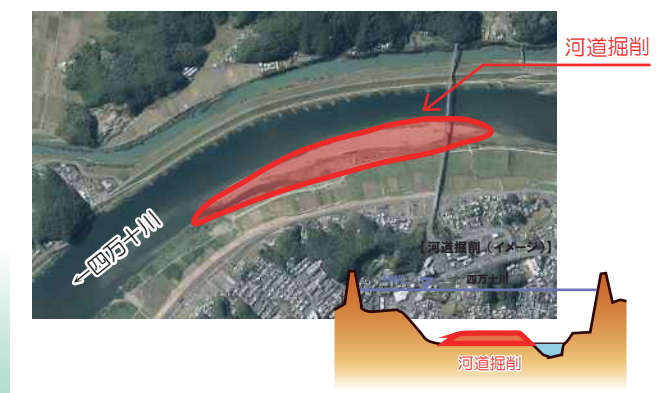
河川改修事業や環境整備事業がすすんでいます



② 山路地区 **ちくていじぎょう 築堤事業／山路堤防**
四万十川の堤防の断面が不足している範囲を対象に堤防拡幅による堤防整備を進めています。令和6年度は堤防拡幅工事を推進します。



④ 不破・後川地区 **かどうくさくじぎょう 河道掘削事業**
四万十川及び後川において、流下能力の向上を図るため河道掘削及び樹木伐採を推進します。



① 入田地区 **にゅうたちく ないすいたいさくじぎょう 入田地区内水対策事業**
流域に関わる様々な関係者が協働して水災害対策を行う流域治水の一環として、入田地区にて国・高知県・四万十市が連携した内水対策事業を実施しています。



③ 初崎地区 **ちくていじぎょう はつざきていぼう 築堤事業／初崎堤防**
初崎地区では、高潮堤防の整備を進めています。令和6年度は、堤防工事に伴う県道のかさ上げ工事を行います。



⑤ 中山・森沢地区 **しぜんさいせいじぎょう 自然再生事業**
四万十川自然再生事業の一環として、中山地区及び森沢地区においてツルのねぐら、えさ場づくりのための、湿地の改良工事を実施します。



「四万十川流域治水プロジェクト2.0」を策定

～気候変動を踏まえた河川及び流域での対策～

R6.3更新(2.0策定)

- 四万十川流域では、気候変動の影響により河川流量が増加した場合においても目標とする治水安全度を確保するため、流域治水の追加の対策について、関係者と協働して検討を進めてきました。
- 今般、気候変動を踏まえた河川区域、集水域及び氾濫域での新たな対策や更なる推進を図る対策の方向性をとりまとめた『流域治水プロジェクト2.0』を策定しました。



渡川水系岩田川河川整備計画を策定しました。

高知県が管理する岩田川は、これまで大規模な浸水被害がたびたび発生しています。平成28年9月の台風16号の出水では、岩田川流域で、床下浸水24戸、床上浸水39戸の被害が発生しました。

県では、平成28年9月の台風16号と同程度の洪水を安全に流下させることを目標として、河川整備計画を策定し、令和6年3月に公表しました。後川合流点から1.35km上流まで、堤防を後川と同じ高さまで嵩上げします。整備にあたっては、周辺環境や生息生物に配慮しながら進めます。

渡川水系岩田川河川整備計画URL
⇒https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kasen-keikaku-housinkeikaku/file_contents/RO603iwata_keikaku.pdf

